



2026年5月13日

各位

会社名 宮越ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 宮越 邦正  
(コード番号 6620 プライム市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員 板倉 啓太  
(TEL 03-3298-7111)

### 貸倒引当金繰入額の計上及び通期連結業績予想と実績値の差異 並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、貸倒引当金繰入額（営業外費用）を計上したことにより、2026年2月10日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、2026年3月期の個別業績と前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 貸倒引当金繰入額の計上について

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間において、当社の連結子会社が保有する貸付金債権等について、債務者の保全状況等を勘案し回収可能性を慎重に検討した結果、貸倒引当金繰入額944百万円を営業外費用として計上いたしました。

##### 2. 通期連結業績予想と実績値との差異について

(1) 2026年3月期通期連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	386	△320	70	△1,000	△24.99
実績値 (B)	391	△333	△839	△1,937	△48.42
増減額 (B-A)	5	△13	△909	△937	—
増減率 (%)	1.3	—	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 2025年3月期通期	1,030	284	552	365	9.14

(2) 差異の理由

上記1. に記載のとおり、当社の連結子会社が保有する貸付金債権等について貸倒引当金繰入額 944 百万円を営業外費用として計上したことから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が、前回公表した予想数値を大きく下回る結果となりました。

3. 個別業績の前期実績値との差異について

(1) 2026 年 3 月期個別実績と前期個別実績の差異 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	94	△77	50	40	1.02
当期実績 (B)	94	△107	138	114	2.87
増減額 (B-A)	△0	—	88	73	—
増減率 (%)	△0.0	△38.7	175.2	180.9	—

(2) 差異の理由

営業利益につきましては、人件費等の経費が増加したことにより前期実績を下回ることとなりました。

経常利益につきましては、保有する貸付金債権の金利の見直しを行ったことや期末の外国為替相場の変動に伴う為替差益の計上により、前期実績を上回ることとなりました。

当期純利益の増加は、経常利益の増加要因とそれに伴う税金等の増加によるものであります。

以 上